

## (5) 主要花きの入荷と価格の見通し

仙台市中央卸売市場 花き市場

(電話) 232-8123

### 【切花類の概要】

今年は台風や局地的な大雨等自然災害の多い年となりました。災害の被害が大きかった千葉・茨城中心に年末入荷分や年明け入荷分への影響は大きくストックや水仙、金魚草など品目によっては品薄が予想されます。

10月から11月にかけて全国的に気温が高めで推移したことで生育は前進傾向にあり12月中旬から潤沢な入荷となりそうです。

年明け4日初市は出荷する産地も偏ることが予想され、本格的には6日(月)から各産地・品目が出そろいます。

### 【品目別】

キク	輪菊は宮城・栃木・静岡・愛知・福岡・長崎・沖縄産、スプレー菊は栃木・愛知・鹿児島産、小菊は沖縄産中心の入荷です。全国シェアが高い愛知産は概ね順調ですが、暖冬の影響から若干の前進傾向が予想され、出荷のピークが20～23日頃と早めとなりそうです。また、沖縄産は台風の影響がなく順調な入荷を見込んでいます。仕入ピークは23～25日、葬儀需要などは27日まで上位等級を中心に引き合いが強まり、束用ではなく上位等級中心に引き合いになりそうです。価格は前年並みで推移しそうです。
バラ	宮城・栃木・静岡・愛知産中心の入荷となり、各品種上位等級も出回り始めました。輸入はケニアや南米産が比較的安定して入荷し、品質もある程度保たれています。 例年並みの入荷量を見込んでおり、季節的に赤系品種中心に引き合いが強まって、年末需要期へ向け全体的な相場も上向くことが予想されます。 価格は年末需要に向けて赤系、黄色系中心に高単価で推移する見込みです。
カーネーション	宮城・愛知・長崎産中心の入荷です。産地によっては一番花がまだ短く下位等級中心だが、徐々に長さも出てくる見込みです。入荷数量は年末に向けて徐々に増加となりそうです。輸入品は潤沢な入荷が期待されます。価格は前年並みの相場で推移し21日以降は活発な取引となりそうです。 年始は業務需要中心となり、前年並みの価格となりそうです。
松	茨城・秋田産中心の入荷となります。本年度の台風や長雨の影響で品質低下や労働力の問題が見られ入荷数量の減少が見込まれます。昨年は台風の影響により激減した大王松は、前年並みの入荷を見込んでいます。 価格は入荷量が減少し、相場は高まる見込です。
千両	茨城・千葉産中心の入荷です。一部の地域では台風による施設被害が見受けられます。さらに、暖冬の影響から生育は遅れており、予想より入荷数量の減少が見込まれます。 価格は入荷量が前年よりも減少する見込みなので、高単価で推移する見込みです。

### 【鉢物類の概要】

今年は台風などの異常気象が続き、さまざまな影響があった年になりました。台風被害の影響から11月下旬以降に千葉・福島・宮城県産中心に出荷数量の減少が見られました。入荷はシクラメンやポインセチアなど東北、北関東産中心に増加し、12月10日頃に入荷のピークが見込まれます。年末にかけて小鉢やラン類を中心に前年並みの入荷が見込まれ、年始はプリムラ、チューリップ、ヒヤシンスなどの球根物の入荷が中心となる見込みです。価格は前年並みの相場で推移する見込みです。

### 【品目別】

シクラメン	宮城・福島・岩手・茨城・栃木・千葉産中心の入荷です。残暑や台風等の影響により1週間くらい遅れています。作柄はおおむね良好で株のボリュームがある良品が多く出回る事が予想されます。価格は前年並みで推移しそうです。
シンビジューム	栃木・埼玉・山梨・愛知産の入荷です。産地によっては前年より減少傾向が見られますが、生育は順調で立ち本数は多めの状況となりそうです。入荷のピークは12月上旬となり、年末年始にかけては生産量減少から品薄が懸念されます。価格は前年並みの相場で推移する見込みです。